

2024（令和6）年11月21日

milab 株式会社

防災備蓄管理システム「BxLink（ビーリンク）」が「第18回 ASPIC クラウドアワード 2024」にて『社会貢献賞』を受賞

BELL グループの milab 株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：狩野 貴史）が提供する備蓄防災備蓄管理システム「BxLink（ビーリンク）」が、一般社団法人日本クラウド産業協会（略称：ASPIC、東京都品川区西五反田、会長：河合 輝欣、以下 ASPIC）が 2024 年 11 月 20 日に発表した「第 18 回 ASPIC クラウドアワード 2024」の「支援業務系 ASP・SaaS 部門」において、『社会貢献賞』を受賞しました。



防災備蓄管理システム BxLink（ビーリンク）



ASPIC クラウドアワードは、クラウドサービスが社会情報基盤として発展・確立することの一助になることを目的とした表彰制度です。日本国内で優秀かつ社会に有益なクラウドサービスを対象に、総務大臣賞やアワード総合グランプリ、各部門総合グランプリ他各賞の表彰を行うことでクラウド事業者及びユーザー企業の事業拡大を支援しています。

防災という社会課題の解決は、一社だけでは成し遂げられません。今回の受賞を受け、「BxLink」の機能拡張や他システムとの連携強化にさらに力を注ぐとともに、自治体や企業との協力を深め、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

■ 受賞対象サービス：防災備蓄管理システム BxLink（ビーリンク）

BxLink は防災備蓄の課題解決に特化したソリューションです。多くの組織は独自のスプレッドシートで備蓄管理を行っていますが、標準化の遅れや担当者の主業務との兼ね合いから品質・効率に課題が生じています。さらに、情報共有の不足が地域防災力向上を妨げています。BxLink は 100 を超える自治体や企業の備蓄担当者、自治体から備蓄の棚卸業務などを受託している事業者の

声をもとに今も開発を進めています。

■ milab 株式会社のビジョン

milab 株式会社は災害時に「誰一人として取り残されない社会をつくる」をコンセプトに、備蓄食に関する 20%問題などの独自の視点で問題提起し、その解決にむけて他者との共創・協業を積極的に行い、全ての人々が被災時でも平時と同じ快適な避難生活を享受できる社会を築きます。地域や組織の備蓄課題に挑戦し、「備蓄食に関する 20%問題」の解決、従来の防災概念に挑み「ローリングストック」を導入した効果的な備蓄を実現、生命維持だけでなく個々の尊厳を尊重し、避難所 QOL 向上を通じて「いのち」と「尊厳」を共有する未来を実現します。

【milab 株式会社について】

milab は BELL グループの社会課題解決型新規事業創出の取り組みの中から生まれました。防災に関する新しい価値を創造し、地域の安心と事業に関わる一人ひとりが輝く場となることを目指してまいります。

会社名	milab（ミラボ）株式会社（milab, inc.）
所在地	東京都新宿区西新宿 2-1-1 新宿三井ビル 49 階
設立	2023 年 10 月 2 日
資本金	1,000 万円
事業内容	防災関連の新規事業
役員	代表取締役社長 狩野 貴史 取締役 中西 洋彰 取締役 木村 仁
株主	ベル・ホールディングス株式会社 100%

詳しくは、企業サイトをご覧ください。：<https://www.milab.bell-group.jp/>

【BELL グループについて】

グループのパーパス「技術探険と共創で、社会に安心を届ける」を軸に、BELL グループは、想像力、創造力、技術力をかけ合わせた“共創”を強みに、「今」と「未来」への不安を安心へと変える社会づくりを目指していきます。テクノロジーによる中堅・中小企業の成長を強力に支援していくとともに、防災プラットフォーム事業をはじめとした、少子高齢化、災害対策など解決すべき社会課題についても積極的に取り組みます。BELL グループは変化を恐れず、ビジョンの実現に向けて新たな挑戦を続けていきます。

詳しくは、BELL グループサイトをご覧ください。：<https://www.bell-group.jp/>

<本件に関するお問い合わせ先>

BELL グループ 広報室

TEL：03-6386-4433 MAIL：press@bell-group.jp